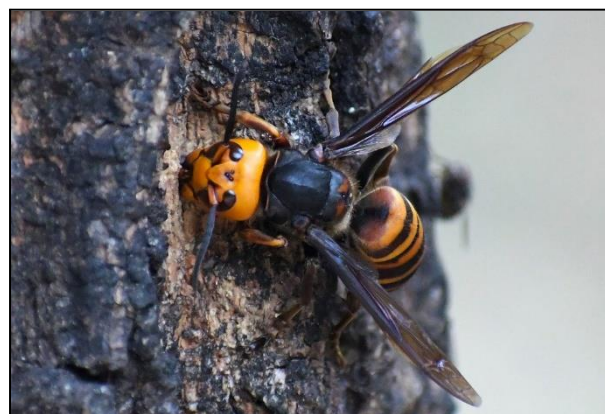




ヘメロカリス
(ススキノキ科) ①
ススキノキ科ヘメロカリス属に属する植物を一般的にヘメロカリスと呼んでいます。



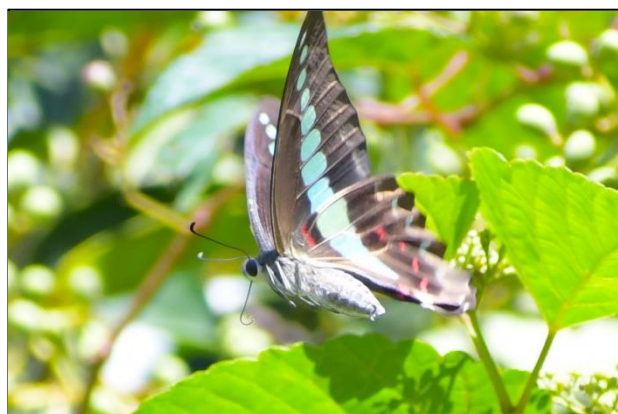
ヒガンバナ
(ヒガンバナ科) ②
今年は開花が遅れましたが、毎年秋の彼岸に花を咲かせてくれます。



オオスズメバチ
(スズメバチ科)
最も危険なハチです。見かけても騒いだり、相手にしたりせず、そっとしておいてください。



ツバメシジミ
(シジミチョウ科)
後翅に短い尾（尾状突起）があるため、ツバメシジミと呼ばれています。



飛翔中のアオスジアゲハ
(アゲハチョウ科)
良く飛び回り落ち着きがありません。幼虫が食べるのはクスノキ科の植物です。



ゲンノショウコ
(フウロソウ科) ③
生薬の一つで、紅紫色の花や白い花を咲かせます。名前は実際に効く証拠を意味し、漢字では、「現（験）の証拠」と書かれます。

アオツツラフジの実
(ツツラフジ科) ④

雌雄異株で、雌株に青から黒色に熟す目立つ実が結実します。有毒です。



スズメウリの実
(ウリ科) ⑤
カラスウリよりも実が小さいことからこう呼ばれます。緑の実が熟すと白くなります。



ヒレタゴボウ
(アカバナ科) ⑥
一年生草本の帰化植物で、黄色い花を咲かせます。本来湿地の植物ですが、三木山ではどんぐり谷やれんらく道にたまに現れます。今年は上池に登場しました。



カキノキの若い実
(カキノキ科) ⑦
カキノキの若い実の色付き始めました。



スタジイの実
(ブナ科) ⑧
果実は食用になります。ヤマガラにも人気があり、よく食べに来ています。

みどころ 令和6年10月上旬

Mikiyama 三木山森林公園

過去の「みどころ」はHPの2ページ目以降にあります

三木山森林公園 検索
カラー写真入りの「みどころ情報」をHPにて掲載しています

クサギ⑨、ヤマノイモ⑩、ガマズミ⑫は園内各所で見られます。

カキノキの若い実が見られます⑦

アオツツラフジの実が見られます④

スズメウリの実が見られます⑤

ヒガンバナが咲いています②

ヒレタゴボウが咲いています⑥

ゲンノショウコが咲いています③

ヘメロカリスが咲いています①

ヒガンバナが咲いています②

ヤマコウバシの若い実が見られます⑪

スタジイの実が見られます⑧



クサギの実と萼
(シソ科) ⑨
花だけでなく、青い実や真紅の萼が美しい落葉小高木です。



ヤマノイモの若い実
(ヤマノイモ科) ⑩
立体的構造のヤマノイモの若い実が見られます。

ヤマコウバシの若い実
(クスノキ科) ⑪
実は熟すと黒くなります。クスノキ科の落葉低木ですが、冬になっても葉が落ちません。



ガマズミの実
(ガマズミ科) ⑫
ガマズミ属の植物で、コバノガマズミ、ミヤマガマズミ、ガマズミなどがあります。実が赤くなり始めました。赤い実をお楽しみください。